

第2学年体育科「表現リズム遊び」

レッツゴー！へんしんワールド

対 象：2年2組32名

1 単元名 「レッツゴー！へんしんワールド」

2 単元の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
- 身近な題材の特徴や様子を具体的な動きで捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができるようにする。 - 軽快なリズムに乗って弾んで踊ったり、友達と調子を合わせて即興的に踊ることができるようにする。	- 題材の特徴を捉えて、ふさわしい様子や動きを見付けたり取り入れたりすることができるようにする。 - 友達のよい動きを見付けたり、動きについて考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。	- 題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。 - 誰とでも仲良く表現リズム遊びに取り組むことができるようにする。 - 周りの安全に気を付けて踊ることができるようにする。

3 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近な題材の特徴や様子を捉え、なりきって動くことができる。 ②題材そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。 ③軽快なリズムの音楽に乗って真似しながら踊ることができる。 ④友達と調子を合わせて即興的に踊ることができる。	①題材の特徴に合わせて動いたり、友達の動きを取り入れたりしている。 ②友達のよい動きを見付けたり動きについて考えたりしたことを伝えることができる。	①進んで題材になりきって踊ることができる。 ②きまりを守り、誰とでも仲良く活動に取り組もうとしている。 ③友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて活動に取り組んでいる。

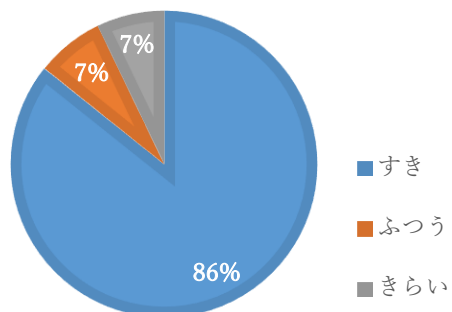
4 運動の特性

表現リズム遊びは、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って楽しく踊ったりする運動遊びである。また、友達と様々な動きを見付けて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりする楽しさにも触れることのできる運動遊びである。

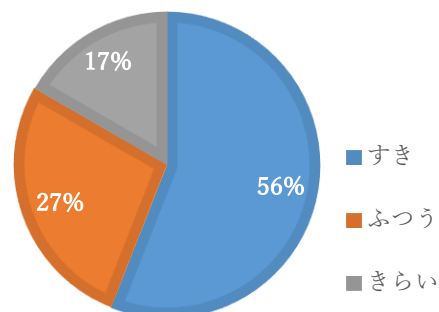
5 児童の実態

- (1) 調査方法：Googleform アンケート
- (2) 実施時期：9月上旬
- (3) 対 象：第2学年児童96名

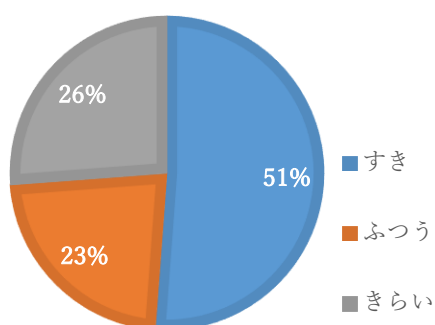
①たいいくのじゅぎょうは
すきですか。



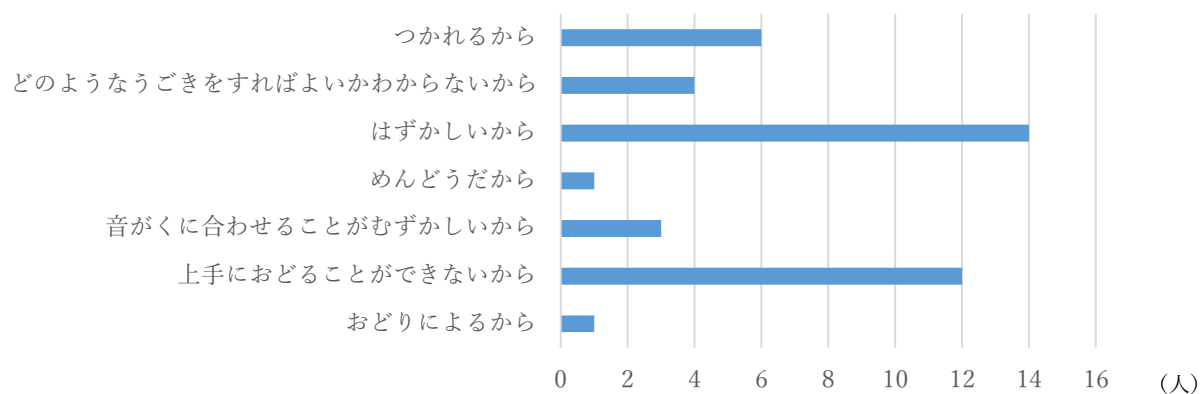
②音がくにあわせて
体をうごかすことはすきですか。



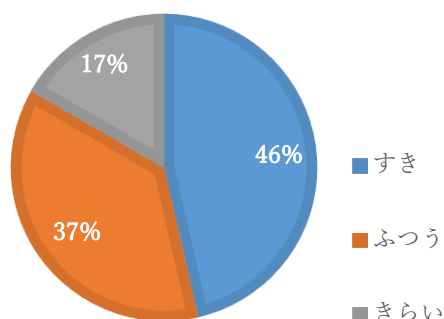
③おどることはすきですか。



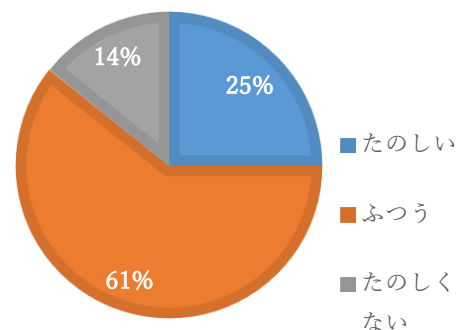
④ ③のしつもんで「ふつう」「きらい」と答えた人
は、りゆうを教えてください。



⑤友だちといっしょに
おどることは、好きですか。



⑥みんなのまえでおどる
ことは、たのしいですか。



本学年の児童は、1年生において表現リズム遊びに取り組んでいる。2年生になってからの体育では、走の運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びなどに取り組んできた。「体育の授業は好きですか」の質問に対して、86%の児童が好きと回答している。日頃の体育の授業や休み時間の外遊びに多くの児童が積極的に取り組む様子が見られ、体を動かすことを肯定的に捉えている傾向にあると言える。

その一方で、「音楽に合わせて体を動かすことは好きですか」の質問に対しては、17%の児童が嫌いと回答している。また、「踊ることは好きですか」の質問に対しては、26%の児童が嫌いと回答している。このことから、体を動かすことは好きな児童が多いが、音楽に合わせて体を動かしたり、踊ったりするなど、自分で自由に表現することへ苦手意識をもつ児童が多く存在することが分かった。また、踊ることが嫌いな理由として、「上手に踊ることができないから」「恥ずかしいから」という回答が多く、人に見られることへの抵抗感があることも分かった。

そして、「友達と一緒に踊ることは好きですか」という質問に対して37%、「みんなの前で踊ることは楽しいですか」という質問に対して61%の児童がふつうと回答している。これは、本学年の児童は、幼児期において感染症拡大による活動制限があり、友達と一緒に活動したり多くの人の前で発表したりする経験が少ないことが影響していると考えられる。

そこで、表現リズム遊びとの出会いでは、複数の教師があるものになりきって踊る姿を見せることで、いろいろな表現の仕方があることのおもしろさに気づき、踊ることへの抵抗感を低くすることができるのではないかと考えた。また、本単元の最後には、グループで選んだお話を見合う活動を設定し、賞賛される経験を通してみんなの前で踊ることへの意識を変化させていきたい。

以上のことから、表現リズム遊びの楽しさや喜びを味わうことができるようにするためには、「楽しく表現する身近なロールモデルを提示することによって、安心して取り組めるようにするとともに、自分もやってみたいという意欲を高めること」「表現することに苦手意識のある児童も取り組みやすい活動を設定すること」「友達と関わること」が必要であると考え、手立てを講じる。

6 目指す児童像 「運動やスポーツに親しむ子」

7 目指す児童像に迫るための手立て (★…本時に関わる手立て)

(1) 運動との出会いの工夫

具体的な手立て	期待される児童の姿
なりきりクイズとして、教員による模範演技を見せる。★	教員が表現する姿を見て、表現することは楽しそうだと感じる姿。また、恥ずかしさや抵抗感を減らし、その後の活動で体を大きく動かして表現する姿。

(2) 運動の楽しさや喜びを味わわせるための工夫

具体的な手立て	期待される児童の姿
毎時間、「ノリノリタイム」を設定し、リズムにのって体を動かす中で、運動で使う部位をほぐす。★	心と体をほぐし、その後の活動に意欲的に取り組む姿。
「ノリノリタイム」のBGMは、児童にとって身近でアップテンポの明るい音楽にする。★	楽しそうにリズムにのって踊る姿。
「なりきりタイム」では、児童が見たことのあるもので、動きのイメージを膨らませやすいお題を出す。★	どのように動けばよいのか戸惑っている児童が、音楽に合わせて楽しんで踊る姿。また、「自分で表現することができた。」と感じる姿。
グループごとにお話をつくって表現するときには、イラスト入りのできごとカードを作成し、選べるようにする。	場面のイメージを具体的に想像し、意欲的に、楽しく表現する姿。
教師が小さなことでも、よい動きを積極的に賞賛し、価値付ける。また、児童が互いに動きを見合う場面を設定する。★	全身を使って自信をもって踊る姿。また、友達同士でも賞賛し合い、よい動きを共有する姿。

8 単元計画

時		1 (本時)	2	3	4	5
学習活動		1 ノリノリタイム (準備運動) 2 リズム遊び 3 本時の流れとめあての確認				
		〇〇になりきって、楽しく体をうごかそう。 4 なりきりクイズ (教員による模範演技) 5 なりきりタイム ①海藻 ②たこ ③くらげ ④ 1つ選んでみんなで水族館	〇〇のとくちょうを見つけて、なりきろう。 4 なりきりタイム ①さる ②ぞう ③とり ④ 1つ選んでみんなで動物園	〇〇のとくちょうを見つけて、大きく体をうごかそう。 4 なりきりタイム① ①水族館にいる生きもの ②動物園にいる生きもの 5 お話なりきり (場面を設定して、流れに沿って表現する。)	体をうごかしながら、なりきりのお話を作ろう。 4 お話なりきり (出来事カードを使い、グループごとにお話を作る。) 5 お話なりきりタイム (作ったお話の流れでなりきって表現する。)	作ったお話をはっぴょうしたり、友だちのようごきを見ついたりしよう。 4 お話なりきりタイム (作ったお話なりきりを発表する。) 5 友達のよい動きを伝え合う。
		6 リラックスストレッチ (整理運動) 7 本時の振り返り				
評価の重点	知・		①	②	③	④
	思・判・表				①	②
	主	①	②	③		

9 本時（5時間扱いの1時間目）

（1）本時のねらい

- ・身近な題材の特徴や様子を具体的な動きで捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。
(知識及び技能)
- ・題材の特徴を捉えて、ふさわしい様子や動きを見付けたり取り入れたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力)

◎題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

（2）本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価【評価方法】
導 入	○ノリノリタイム（準備運動） ・おもしろい。 ・うまくできた。 ・簡単だった。 ○下赤動物じゃんけん ・ ○本時の学習の流れとめあてを知る。	◇音楽（Mela）をかけ、リズムに乗りながら、体全体を大きく動かす。 ◇児童の関心が高く、アップテンポでリズムにのりやすい音楽をかける。 ◇じゃんけんに勝つと、ねずみ→ねこ→さる→ライオンの順に進化していく。 ◇ホワイトボードに掲示し、見通しを持ちながら活動できるようにするとともに、学習のめあてを意識しながら活動できるようにする。
めあて：○○になりきって 楽しく からだを うごかそう。		
展 開	○なりきりクイズ（ねこ） ・攻撃してるよ。 ・ねこパンチに見える。 ・ぜんぜん違うけど、たしかに全部○○に見える。 ・たのしそう。 ○なりきりタイム ①海藻 ②たこ ③クラゲ ④1つ選んで水族館 ・○○になるのが、たのしい。 ・大きく動いた方が分かりやすい。 ・少し恥ずかしいかも。 ・すばやく動いたら、なんだか似てきた。 ○リズムに乗りながらリラックスストレッチ（整理運動）	◇下赤塚小学校の教員による模範演技を見て、何を表現しているのかを答えさせる。 ◇3人の教員を登場させ、同じ題材でもそれぞれ違う表現をすることで、表現することの自由さを感じられるようにする。 ◇スピードの強弱・前後上下左右の活用・柔らかさの強弱が動きのポイントとして意識できるように声かけをする。 ◇同じ生きものでも、様々な動きで表現できるように、適宜場面を設定する。 ◇表現することに戸惑っている児童には、楽しんで踊っている児童の動きをもとにして、体全体を大きく動かすよう助言する。

		☆主 題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組もうとしている。 【観察、学習カード】
まとめ	○学習の振り返りをし、単元の見通しを持つ。 ・場面を考えて動けた。 ・動きの種類をたくさん考えた。	◇今日の学習では、どんなことに気を付けて取り組んだか考え、次時以降の学習に意欲的に取り組むことができるようにする。

(3) 学習カード

「レッツゴー！へんしんワールド」

2年　くみ　名前

	めあて	ふりかえり		
1	〇〇になりきって、楽しく体をうごかそう。	楽しくできた。 ◎ ○ △	なりきって、うごいた。 ◎ ○ △	
2	〇〇のとくちょうを見つけて、なりきろう。	友だちと楽しくできた。 ◎ ○ △	なりきって、うごいた。 ◎ ○ △	
3	〇〇のとくちょうを見つけて、大きく体をうごかそう。	リズムにのって、おどった。 ◎ ○ △	からだを大きく、うごかした。 ◎ ○ △	
4	体をうごかしながら、なりきりのお話を作ろう。	リズムにのって、おどった。 ◎ ○ △	お話に、あわせて、うごいた。 ◎ ○ △	
5	作ったお話をはっぴょうしたり、友だちのよいところを見つつけたりしよう。	お話に、あわせて、うごいた。 ◎ ○ △	友だちのよいところを見つけた。 ◎ ○ △	

(4) 授業参観の視点（協議の視点）

- ①複数の教師による模範演技（なりきりクイズ）は、表現することの自由さや楽しさを感じさせることができたか。
- ②なりきりタイムでのお題は、動きの小さい児童や動き方に戸惑っている児童が、楽しんで動くための手立てとして適切であったか。

〈成果〉

- ・ なりきるものの特徴をつかんで表現することができた。
- ・ 友達の動きも見ながら活動し、大きく体を動かすことができた。

〈課題〉

- ・ なりきりタイムのお題は、同じテーマに絞って行う。
- ・ 授業の前半部分の運動量を増やす。